

作成年月日	令和2年8月17日
作成部局	教育委員会事務局
課室名	教育企画課

第3期「ひょうご教育創造プラン」令和元年度における主な取組状況

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本県教育の振興を図るため策定した第3期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」（令和元～5年度）の令和元年度の実績状況及び今後の取組について報告する。

1 指標（35 指標 54 詳細項目）（うち2項目は令和元年度の目標設定なし） [別添1]

指標について、達成状況を4段階で評価

- ◎：目標値を達成した（100%以上）
 ○：目標値を概ね達成した（90%以上～100%未満）
 △：目標値をやや下回った（70%以上～90%未満）
 ▲：目標値を下回った（70%未満）
 —：実績値未確定
 ※：令和元年度は目標設定なし

基本方針	令和元年度実績					
	◎	○	△	▲	—	※
1 「生きる力」を育む教育の推進	21	11	3	0	1	1
2 子どもたちの学びを支える環境の充実	5	3	2	0	2	1
3 人生100年を通じた学びの推進	0	3	1	0	0	0
計	26	17	6	0	3	2

① 令和元年度に目標設定をしていない指標を除く52項目中、◎及び○を合わせて43項目（8割強）が目標を概ね達成している。

② 令和年度目標値をやや下回った（70%以上90%未満）項目は以下の6項目、下回った（70%未満）項目はない。

基本方針1 「生きる力」を育む教育の推進			
区分	指標	R1 実績値	R1 目標値
基本的方向(1)	CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生の割合	40.2%	50%
基本的方向(2)	地域と連携した防災訓練を実施した学校の割合 [中]	25.3%	35%
基本的方向(2)	高校生被災地ボランティア実施状況（県立学校）（のべ校数・人数）	45校 795人	60校 824人

基本方針2 子どもたちの学びを支える環境の充実			
区分	指標	R1 実績値	R1 目標値
基本的方向(2)	管理職受験者層（45～54歳）に対する受験者数の割合	4.9%	6%
基本的方向(4)	県民による私立高校の選択（募集定員充足率）	80.9%	93.2%

基本方針3 人生100年を通じた学びの推進			
区分	指標	R1 実績値	R1 目標値
基本的方向(1)	目的を持って学んでいるものがある人の割合	44.3%	50%

2 基本方針ごとの取組状況（教育委員会関係分のみ記載）

(1) 基本方針1 「生きる力」を育む教育の推進

①-1 「確かな学力」の育成【小・中学校】

[取組状況等]

- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学力向上方策や、発達段階に応じたプログラミング教育の充実等に取り組んだ。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値	
ア 学力向上の推進	「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【小学校】	国語	62%	全国平均 64%	○	全国平均 以上
		算数	67%	全国平均 67%	◎	
	「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【中学校】	国語	73%	全国平均 73%	◎	全国平均 以上
		数学	62%	全国平均 60%	◎	
		英語	58%	全国平均 56%	◎	
イ 国際理解を深める教育の推進	CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生の割合	40.2%	50%	△	50%	
オ 情報活用能力の育成	プログラミング教育に関する研修を受講した教員がいる小学校の割合	100%	100%	◎	— ※注1	

※注1) 小学校においてプログラミング教育が全面実施される令和2年度まで目標値を設定

[令和2年度の取組]

- 新学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教員を対象とした授業改善に向けた実践的な研修を実施し、教員の授業力向上を目指す。
- 「英語科の授業改善少人数グループ実践研修」実施し、文部科学省の研修を受講した英語教育推進リーダーを講師とし、英語の実践的な活用能力を育成するためのポイントについて少人数グループ研修を行い、改善を図る。
- 中学校段階における「兵庫県版プログラミング教育スタートパック」構築と小学校「スタートパック」の内容の充実に取り組む。

①-2 「確かな学力」の育成【高等学校】

[取組状況等]

- 各校の特色に応じた学力向上に取り組むとともに、豊かな語学力やコミュニケーション能力の育成、理数教育の充実等に取り組んだ。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 学力向上の推進	「学校の授業がよく分かる」と感じている生徒の割合	64.9%	61%	◎	65%
イ 国際理解を深める教育の推	CEFR A2 レベル相当以上の英語力を有すると思われる高校3年生の割合	51.8%	50%	◎	50%
ウ 魅力と活力ある高校づくりの推進	高校の魅力・特色を高校選択の理由にした生徒の割合	81% (H29)	82%	—	86%
エ 理数教育の充実	探究活動に関わる発表会等で発表した生徒の割合	41.9%	40%	◎	50%

[令和2年度の取組]

- 生徒の学習意欲を高め、学力向上の推進を図るために、大学入学共通テストや新学習指導要領の実施を踏まえた授業改善を進める。
- ひょうごスーパーハイスクール事業等において、外部機関との連携等による先進的な調査研究を促進し、課題解決能力、創造性等の育成に取り組むとともに、英語発信力の向上を図る。

②「豊かな心」の育成

[取組状況等]

- 環境体験事業、自然学校、わくわくオーケストラ教室、トライやる・ウィーク、高校生ふるさと貢献・活性化事業など、兵庫型「体験教育」に取り組んだ。
- 道徳教育の推進に係る指導力の向上、「兵庫版道徳教育副読本」の活用に取り組んだ。
- 多文化共生社会の実現を目指し、外国人児童生徒等に対する教育的支援等を実施した。
- 防災教育推進連絡会議、防災教育研修会を実施し、防災・減災指導や学校防災体制の充実に取り組んだ。

施策	指標		R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 兵庫型「体験学習」の推進	自然学校で主体的な活動を促す取組を実施した学校の割合		82.1%	60%	◎	80%
イ ふるさと意識を醸成する教育の推進	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小	65.2%	全国平均 68.0%	○	全国平均 以上
		中	49.3%	全国平均 50.6%	○	
	自発的に地域活動やボランティア活動に参加した生徒の割合		38.4%	40%	○	40%
ウ 道徳教育の推進	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小	82.8%	全国平均 81.2%	◎	全国平均 以上
		中	74.5%	全国平均 74.1%	◎	
エ 人権教育の推進	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	小	95.9%	全国平均 95.2%	◎	全国平均 以上
		中	94.5%	全国平均 94.3%	◎	
オ 「兵庫の防災教育」の推進	地域と連携した防災訓練を実施した学校の割合	小	51.9%	50%	◎	70%
		中	25.3%	35%	△	55%
	高校生被災地ボランティア実施状況（県立学校）		45校 795人	60校 824人	△	60校 824人

[令和2年度の取組]

- 感謝の心やふるさとへの愛着心を育むため、児童生徒が地域の文化行事や伝統行事、ボランティア活動等に主体的に参加し、地域の人々とのつながりを深める取組を充実させるための兵庫型「体験教育」を推進する。
- 児童生徒の自尊感情の育成やよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳教育推進事業を通して、教員の授業力向上や学校と家庭・地域が連携した道徳教育の充実に努める。
- 多様な文化的背景をもつ人々と豊かに共生する心を培うため、家庭・地域・関係団体との連携のもと多文化共生にかかわる事業等を実施する。
- 防災教育推進連絡会議等の中で地域と連携した防災訓練の実施について積極的な啓発を図るとともに、教職員向け研修会の内容を充実する。また、高校生等防災ジュニアリーダーの取組を推進し、教員及び高校生の意識の醸成を図る。

③「健やかな体」の育成

[取組状況等]

- 体力アップサポーターの派遣など児童生徒の体力・運動能力の向上に取り組むとともに、運動部活動の活性化を図るため、部活動指導員を配置した。
- 「食育ハンドブック（中学校版）」の作成等、学校教育活動全体で行う食育の推進に取り組んだ。

施策	指標		R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 体力・運動能力向上の推進	新体力テスト総合評価（A+B）の割合	小	32.7%	36%	○	39%
		中	41.6%	44%	○	48%
		高	52.7%	55%	○	60%
イ 食育の推進	規則正しく1日3度（朝・昼・夕）食事をすることは大切であるとする児童生徒の割合	小	97.7%	100%	○	100%
		中	96.4%	100%	○	100%
ウ 健康教育・安全教育の推進	学校管理下における災害（負傷・疾病）発生件数		50,779件	前年度比減 (H30 50,782件)	◎	前年度比減

[令和2年度の取組]

- 授業の楽しさを味わわせ、児童生徒の体力水準の維持、向上を図るため、体力アップサポーターの派遣等を推進する。加えて、中学校・高等学校に部活動指導員を配置し、運動部活動の活性化を図る。
- 学校・家庭・地域の連携体制に基づく食育を推進するために、学校教育活動全体を通じた組織的・計画的・継続的な食育推進体制の充実を図る。

④兵庫型「キャリア教育」の推進

[取組状況等]

- 児童生徒の一人一人のキャリア形成と自己実現に向け、推進校を指定して研究を実施するとともに、小・中・高における系統だったキャリアノートの活用など発達段階に応じた継続的なキャリア教育に取り組んだ。

施策	指標		R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値	
ア 体系的・系統的なキャリア教育の推進	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小	84.6%	全国平均 83.8%	◎	全国平均以上	
		中	69.7%	全国平均 70.5%	○		
	将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合			64.7%	61%	◎	70%
	県立特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合			30.2%	23%	◎	34%
イ 社会に触れる機会の充実	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合 [再掲]	小	65.2%	全国平均 68.0%	○	全国平均以上	
		中	49.3%	全国平均 50.6%	○		
	自発的に地域活動やボランティア活動に参加した生徒の割合 [再掲]			38.4%	40%	○	40%

[令和2年度の取組]

- 児童生徒のキャリア形成の支援をさらに充実させるため、「キャリア・パスポート」の活用を通じた、小・中・高一貫したキャリア形成を図る取組を充実する。

⑤特別支援教育の推進

[取組状況等]

- LD、ADHD等の児童生徒を支援するため、小中学校への学校生活支援教員の配置や高等学校における通級による指導実践研究事業を実施した。
- 特別支援学校高等部卒業生の一般就労率引き上げを目指すため、キャリア教育・就労支援推進事業において、就職支援コーディネーターの配置や技能検定を実施した。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 連続性のある多様な学びの充実	「個別の教育支援計画」等の資料の引継ぎが必要な生徒のうち、進学先の高等学校等への引継ぎを行った生徒の割合	91.7%	80%	◎	100%
イ 一貫性のある支援体制の構築	県立特別支援学校における福祉、企業、地域等関係者を対象としたオープンスクール実施日数（1校あたりの平均日数）	5.9日	6.5日	○	8.5日

[令和2年度の取組]

- 個別の教育支援計画や「中・高連携シート」を活用し、特別な教育的支援を必要とする生徒の情報を進学先に確実に引き継ぐ。
- 特別支援学校高等部生徒の就労に向けた必要な力を習得するため、新たな認定資格（パソコン部門）の開発に取り組む。

⑥幼児期の教育の充実

[取組状況等]

- 幼児教育の更なる充実を図るため、教員等の能力のアップ、保護者の理解促進等の方策について、幼稚園、保育所、認定こども園の関係する機関が連携して協議する幼児教育連携促進協議会を新たに設置した。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 幼児期における教育の質の向上	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた保育実践をした保育士及び教員の割合	83.6%	80%	◎	100%

[令和2年度の取組]

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた実践について、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校がともに理解を深め、各施設間の連携を促進するために、合同研修を実施するとともに「すくすくひょうごっ子」（幼児教育資料・親子ノート）の活用を促す。

(2) 基本方針2 子どもたちの学びを支える環境の充実

①教職員の資質・能力の向上

[取組状況等]

- 専門性のもとより、チャレンジ精神が旺盛で高い倫理観と使命感を有する優秀な教員を確保するため、教員採用方法の工夫・改善を実施した。
- 教職員の超過勤務の縮減を図るため、県立学校業務支援員やスクール・サポート・スタッフを配置した。
- 教職員の精神疾患による療養者の減少を図るため、メンタルヘルスアドバイザーや医療機関との連携により、予防対策、復職支援、復職後のフォローアップを実施した。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 質の高い教職員の確保及び資質・能力の向上	教員採用選考試験の倍率	5.8倍	6倍程度	○	6倍程度

(参 考)

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
イ 教職員の働き方改革の推進	授業等以外の業務量の削減	月 48時間26分 年 581時間15分	目標値 設定なし (規則制定を踏まえ R2より設定)	※	前年度比 1割減

[令和2年度の取組]

- 専門性に加え様々な教育課題に適切に対応できる教員を確保するため、人間性・資質の重視に加え、自身の実体験を通じた教育観を確認する面接の実施など、教員採用方法の工夫・改善を図る。
- 教育職員がその能力を十二分に発揮し、教育活動に取り組めるよう、学校における業務量の適切な管理と健康及び福祉の確保に向けた取組を進め、働きがいのある学校づくりを目指す。
- メンタルヘルス総合対策の取組を広く教職員に周知し、きめ細かいサポートに取り組むことにより、療養者の減少を目指す。

②学校の組織力の強化

[取組状況等]

- 学校管理職・教育行政職特別研修や主幹教諭研修の実施により、リーダーシップを有する管理職の育成に取り組んだ。
- いじめの未然防止、早期発見、早期対応を強化するため、スクールカウンセラー、キャンパスカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用を推進するとともに、児童生徒が気軽に悩み等を相談できるようにするため、SNSによる相談窓口を開設した。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値	
ア 管理職の確保・育成	管理職受験者層（45～54歳）に対する受験者数の割合	4.9%	6%程度	△	6%程度	
	女性管理職受験者数の割合	18.9%	16%程度	◎	18%程度	
イ 地域・家庭と連携したいじめ等問題行動・不登校への対応	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小	97.4%	100%	○	100%
		中	95.2%	100%	○	100%

[令和2年度の取組]

- これからの時代に求められる学校管理職の育成を行うとともに、管理職対象の研修を実施し、組織マネジメントや危機管理などの実践的な学校経営力の向上を図る。
- いじめ問題や友達関係等に悩む児童生徒を支援するため、音声通話や面接における相談に加え、児童生徒にとって身近なSNS(LINE)を活用した相談を実施し、SOSを受け付ける環境の充実を図る。

③修学環境の整備・充実

[取組状況等]

- 「県立学校施設管理実施計画（I期：2017（平成29）～2021年度）」に基づき、学校施設の長寿命化改修の計画的な実施と、各県立学校の普通教室棟を優先したトイレ改修を実施した。
- 過疎・少子化の影響が大きい郡部の小規模高校において、遠隔授業について調査研究を実施するとともに、県立学校におけるICT環境の整備に取り組んだ。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 安全・安心な教育環境整備の推進	県立学校普通教室棟トイレ改修実施校数（着手ベース）	24校	24校	◎	全校完了
イ ICT等の先進的な学習基盤の整備	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	5.6人 (H30)	5.2人	—	1.0人
ウ 教育費負担の軽減に向けた経済的支援	経済的理由による高校中退者の数	151人 (H30)	前年度比減 (H30 151人)	—	前年度比減

[令和2年度の取組]

- 目標の達成に向けて、学校施設の長寿命化改修及びトイレ改修等を計画的に実施する。
- 遠隔授業における成果・課題をとりまとめるため、商業科（簿記）での単位認定を目指すこと等を通じ、調査研究を行う。また、県立学校における教育用コンピュータをはじめとしたICT環境の充実を図る。

④家庭と地域による学校と連携した教育の推進

[取組状況等]

- 地域と学校が連携・協働し学校教育の充実を図るため、地域学校協働活動を推進するとともに、PTAを核とした地域住民（C：コミュニティ）の参画と協働によるPTCA活動に向けたPTAの主体的な取組を支援した。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 家庭の教育力の向上	市町における子育て家庭を対象とした講座への参加者数	676,704人	63万人以上	◎	83万人以上
イ 地域の教育力の向上	地域学校協働活動総実施日数（年間のべ日数）	73,313日	70,000日以上	◎	70,000日以上

[令和2年度の取組]

- 地域と学校が連携・協働する仕組みの一体的な推進を図り、先進的な取組や、地域課題の解決に向けた新たな取組を支援し、情報発信に取り組む。
- PTCA活動を支援することにより、地域の子育てや子どもの安全安心の確保等、地域ぐるみの教育支援活動を充実する。

(3) 基本方針3 人生100年を通じた学びの推進

①主体的に生きるための学びと場の充実

[取組状況等]

- 生涯学習ボランティア活動の推進や、各施設における魅力ある展覧会の開催、イベントや講座等の充実、多様な学習ニーズに対応するアウトリーチ活動などに取り組んだ。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 学びの充実	目的を持って学んでいるものがある人の割合	44.3%	50%以上	△	50%以上
イ 社会教育施設の充実	美術館・博物館における特別展等の内容に満足している来館者の割合	92.8%	93%以上	○	95%以上

[令和2年度の取組]

- 各施設において、展示等の充実を図り、県民の多様な学習ニーズに対応するため、展示や講座等の充実を図り、来館者の満足度の向上を目指すとともに、学校団体等の受入やアウトリーチ等について、より深い学びのプログラムの提供や施設の充実を図る。

②文化財等地域資産の活用

[取組状況等]

- 兵庫県における文化財の保存・活用の基本的な方向性を明確化するため、「兵庫県文化財保存活用大綱」（令和2年1月）を策定するとともに、地域の伝統芸能の公開・体験や後継者養成など、文化遺産を活かした地域活性化に取り組んだ。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 文化財の保存及び活用	住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合	51.6%	56%	○	60%

[令和2年度の取組]

- 多様な自然・風土を有する本県が育んできた豊かな歴史文化遺産を後世に継承するため、地域独自の豊かな歴史文化遺産の保存・整備を進める。
- 歴史文化遺産を活かした地域活性化に取り組むため、兵庫県を語る上で欠くことのできない歴史上のテーマや、重要で広域的な課題について体系的な調査研究を行う。

③「する・みる・ささえる」スポーツ環境づくりの推進

[取組状況等]

- スポーツクラブ 21 ひょうごの活動支援や東京オリンピック・パラリンピック応援事業、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西への参加促進事業等の実施により、スポーツ活動の充実に取り組んだ。
- 女性のスポーツ環境の向上や女性のスポーツ人口の増加を目指し、新たに「ひょうご女性スポーツの会」を立ち上げ支援を行った。

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R5目標値
ア 競技スポーツ・生涯スポーツ・障害者スポーツの推進	国民体育大会天皇杯・皇后杯8位以内入賞の継続（天皇杯・皇后杯）	天皇杯 13位	8位	○	— ※注2
		皇后杯 8位			

※注2) 兵庫県スポーツ推進計画に基づき、令和3年度末に目標値を設定

[令和2年度の取組]

- 県体育協会や関係競技団体との連携のもと、団体競技の早期強化を図るとともに、国体ふるさと制度を活用した、「ふるさと選手活用促進プロジェクト」を新設し、他都道府県に進学または就職した本県ゆかりの有望選手に国体出場を促すことで、国体入賞者拡大を図る。
- 女性スポーツの更なる充実を図るため、積極的にひょうご女性スポーツの会への加盟を呼びかけ、年1団体増を目標に取り組む。

<問い合わせ先> 教育委員会事務局教育企画課教育企画班 TEL 078-362-9441

第3期「ひょうご教育創造プラン」における各指標の達成状況(令和元年度)

評価基準

評価 (達成率)	記号
R1目標値を達成した (100%以上)	◎
R1目標値を概ね達成した (90%以上100%未満)	○
R1目標値をやや下回った (70%以上90%未満)	△
R1目標値を下回った (70%未満)	▲
R1実績値が未確定	—
目標を設定していないため評価不可	※

基本方針1 「生きる力」を育む教育の推進

基本的方向1 「確かな学力」の育成

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標	
ア	「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果 (平均正答率) [小学校]	国語	62 %	64 %	○	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		算数	67 %	67 %	◎				
	「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果 (平均正答率) [中学校]	国語	73 %	73 %	◎				
		数学	62 %	60 %	◎				
		英語	58 %	56 %	◎				
	「学校の授業がよく分かる」と感じている生徒の割合 [高等学校]	64.9 %	61 %	◎	65%	65%	65%	65%	
イ	CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生の割合	40.2 %	50 %	△	50%	50%	50%	50%	
	CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる高校3年生の割合	51.8 %	50 %	◎	50%	50%	50%	50%	
ウ	高校の魅力・特色を高校選択の理由にした生徒の割合	81 % (H29)	82 %	—	83%	84%	85%	86%	
エ	探究活動に関わる発表会等で発表した生徒の割合	41.9 %	40 %	◎	42%	44%	48%	50%	
オ	プログラミング教育に関する研修を受講した教員がいる小学校の割合	100 %	100 %	◎	100%	※小学校においてプログラミング教育が全面实施される令和2年度まで設定			

基本的方向2 「豊かな心」の育成

施策	指標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標	
ア	自然学校で主体的な活動を促す取組を実施した学校の割合	82.1 %	60 %	◎	65%	70%	75%	80%	
イ	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小	65.2 %	68.0 %	○	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		中	49.3 %	50.6 %	○				
	自発的に地域活動やボランティア活動(地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等:学校行事除く)に参加した生徒の割合	38.4 %	40 %	○	40%	40%	40%	40%	
ウ	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小	82.8 %	81.2 %	◎	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		中	74.5 %	74.1 %	◎				
エ	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	小	95.9 %	95.2 %	◎	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		中	94.5 %	94.3 %	◎				
オ	地域と連携した防災訓練を実施した学校の割合	小	51.9 %	50 %	◎	55%	60%	65%	70%
		中	25.3 %	35 %	△	40%	45%	50%	55%
	高校生被災地ボランティア実施状況(県立学校)(のべ校数・人数)	校数 人数	校数 人数			60校 824人	60校 824人	60校 824人	60校 824人
		45 795	60 824	△					

基本的方向3 「健やかな体」の育成

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標	
ア	新体力テスト総合評価（A+B）の割合	小	32.7 %	36 %	○	36%	37%	38%	39%
		中	41.6 %	44 %	○	45%	46%	47%	48%
		高	52.7 %	55 %	○	56%	57%	58%	60%
イ	規則正しく1日3度（朝・昼・夕）食事をすることは大切であるとする児童生徒の割合	小	97.7 %	100 %	○	100%	100%	100%	100%
		中	96.4 %	100 %	○				
ウ	学校管理下における災害（負傷・疾病）発生件数	50,779 件	前年度比減 (H30 50,782件)	◎	前年度比減	前年度比減	前年度比減	前年度比減	

基本的方向4 兵庫型「キャリア教育」の推進

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標	
ア	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小	84.6 %	83.8 %	◎	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		中	69.7 %	70.5 %	○				
	将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合	64.7 %	61 %	◎	67%				
	県立特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合	30.2 %	23 %	◎	31%	32%	33%	34%	
イ	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合【再掲】								
	自発的に地域活動やボランティア活動（地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等：学校行事除く）に参加した生徒の割合【再掲】								
基本方針1－基本的方向2－イ 参照									

基本的方向5 特別支援教育の推進

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	「個別の教育支援計画」等の資料の引継ぎが必要な生徒のうち、進学先の高等学校等への引継ぎを行った生徒の割合	91.7 %	80 %	◎	100%	100%	100%	100%
イ	県立特別支援学校における福祉、企業、地域等関係者を対象としたオープンスクール実施日数（1校あたりの平均日数）	5.9 日	6.5 日	○	7日	7.5日	8日	8.5日

基本的方向6 幼児期の教育の充実

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を踏まえた保育実践をした保育士及び教員の割合	83.6 %	80 %	◎	85%	90%	95%	100%

基本的方向7 高等教育（大学）の推進

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	県立大学における就職率（学部）	99.1 %	98.0 %	◎	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
イ	専門職大学における志願者倍率	- 倍	- 倍	※	-	6.0倍	6.0倍	6.0倍

基本方針2 子どもたちの学びを支える環境の充実

基本的方向1 教職員の資質・能力の向上

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	教員採用選考試験の倍率	5.8 倍	6 倍程度	○	6倍程度	6倍程度	6倍程度	6倍程度
イ	<参考指標> 授業等以外の業務量の削減	月(時間) 年(時間) 48:26 581:15	規則制定を踏まえR2より設定	※	前年度比1割減	前年度比1割減	前年度比1割減	前年度比1割減

基本的方向2 学校の組織力の強化

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	管理職受験者層(45~54歳)に対する受験者数の割合	4.9 %	6 %程度	△	6%程度	6%程度	6%程度	6%程度
	女性管理職受験者数の割合	18.9 %	16 %程度	◎	18%程度	18%程度	18%程度	18%程度
イ	いじめは、どんな理由があってもいけないことだ と思う児童生徒の割合	小	97.4 %	100 %	○	100%	100%	100%
		中	95.2 %	100 %	○	100%	100%	100%

基本的方向3 修学環境の整備・充実

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	県立学校普通教室棟トイレ改修実施校数(着手ベース)	24 校	24 校	◎	毎年度24校	毎年度24校	—	全校完了済
イ	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	5.6 人 (H30)	5.2 人	—	4.0人	3.0人	2.0人	1.0人
ウ	経済的理由による高校中退者の数	151 人 (H30)	前年度比減 (H30 151人)	—	前年度比減	前年度比減	前年度比減	前年度比減

基本的方向4 私学教育の振興

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	県民による私立高校の選択(募集定員充足率)	80.9 %	93.2 %	△	93.2%	93.2%	93.2%	93.2%
イ	専門学校フェスタへの来場者数	5,000 人	600 人	◎	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人

基本的方向5 家庭と地域による学校と連携した教育の推進

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	市町における子育て家庭を対象とした講座への参加者数	676,704 人	63 万人以上	◎	83万人以上	83万人以上	83万人以上	83万人以上
イ	地域学校協働活動総実施日数	73,313 日	70,000 日以上	◎	70,000 日以上	70,000 日以上	70,000 日以上	70,000 日以上

基本方針3 人生100年を通じた学びの推進

基本的方向1 主体的に生きるための学びと場の充実

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	目的を持って学んでいるものがある人の割合	44.3 %	50 %以上	△	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上
イ	美術館・博物館における特別展等の内容に満足している来館者の割合	92.8 %	93 %以上	○	93%以上	94%以上	94%以上	95%以上

基本的方向2 文化財等地域資産の活用

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合	51.6 %	56 %	○	57%	58%	59%	60%

基本的方向3 「する・みる・ささえる」スポーツ環境づくりの推進

施策	指 標	R1実績値	R1目標値	評価	R2目標	R3目標	R4目標	R5目標
ア	国民体育大会天皇杯・皇后杯8位以内入賞の継続(天皇杯・皇后杯)	(天皇杯) 13 位 (皇后杯) 8 位	8位	○	8位以内	8位以内	※兵庫県スポーツ推進計画に基づき、令和3年度末に目標値を設定	